

芝浦水再生センター サマーフェスタ開催

7月23日、夏休みを迎えたばかりで元気はつらつな子どもたちが芝浦水再生センターに大勢集まりました。工場や家庭から出る大量の排水がどのようにきれいになるか、センターの職員の話聞き、趣向を凝らしたさまざまな催しを、猛暑をも忘れ、親子連れが楽しんでいました。



水環境を守る芝浦水再生センターの処理面積は、山手線内側の広さに相当し、処理水は東京湾に放流されるほか、ろ過された水は打ち水などさまざまな用途に使用されています。広大な敷地には、職員が丹精したサツマ芋畑もあり、毎年子どもたちが都心での芋掘り体験を楽しみに大勢訪れています。



こうなんふれあいクリーン作戦

毎月第3土曜日午前10時から港南小学校正門前に集まり、みんなで街をきれいに、港南地域連合会とPTAが協力しての清掃活動が始まりました。港南地域連合会は、2町会、7自治会、10の管理組合（オブザーバー含む）が加入し、さまざまな活動を通して地域の連携を深め、子どもから高齢者まで住みやすい環境づくりを目指して、平成19年9月に結成された団体です。



台場児童館エコレンジャーグループ コカ・コーラ環境教育主催者賞受賞!!

エコレンジャーグループは、台場地区の児童25人と保護者を中心にお台場海浜公園における干潟再生プロジェクト（アマモ場の再生）に平成18年度から取り組んでいます。このたび、これまでの活動が評価され「第15回コカ・コーラ環境教育主催者賞（主催：コカ・コーラ教育・環境財団）」を受賞しました。9月12日、子どもたちはとても誇らしげに、賞状と副賞を受け取りました。エコレンジャーグループはこれからも、アマモ場の再生に取り組むだけでなく、あきる野市のみならず区民の森などで活動し、幅広い環境活動に取り組めます。



連載コラム 浦田先生の「のり巻き」-食育の大切さ-

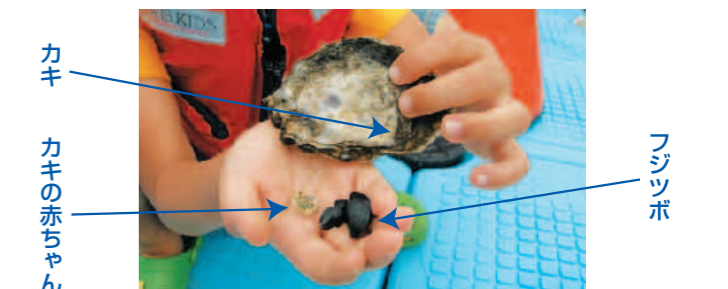
小学校3年の担任だった国語教師の浦田先生。自宅に5・6人のグループごとに子どもを招待し、手料理をごちそうしてくれました。欠食児童もいた戦後のことです。手狭で本が山積みな部屋のちゃぶ台を囲みながら食べた心づくしの太巻きは、ホウレン草や卵焼き、桜色のでんぶ、かんぴょう、椎茸と、具たくさんで色鮮やかなものでした。平素から「分からなくてもいいから、たくさん本を読みなさい」と熱心に読書の勧めを説いていた先生、それは、おいしいのり巻きと相まって鮮明な記憶です。先生の影響は大きく、私が作る太巻きは、今でも、先生をまねたホウレン草入りです。



カキの水質浄化実験 ～お台場育ちのカキが海水を浄化します!～

東京都港湾局では、平成19年度から「カキの水質浄化実験」を都立お台場海浜公園で行っており、8月28日で1周年を迎えました。この実験では、カキ、ナマコ、海草・藻類を用いて、海が本来持つ自然の浄化能力を調査します。たとえば、カキは餌となる植物プランクトンをとることで海水をろ過します。1個のカキが1日約400ℓの海水をろ過すると言われています。

近年、合成洗剤などを海に流すことで海水が富栄養化し、植物プランクトンなどの増加による赤潮などの被害が多くなりました。そこで、自然の力で海をきれいにする生物などを私たちの手によって増やそうと実験を試みています。



台場地区 クリーンアップキャンペーン・タバコルールキャンペーン!

芝浦港南地区安全・美化協議会は、台場地区にて9月2日午後3時からクリーンアップキャンペーン・タバコルールキャンペーンを実施しました。当日は30℃を超える暑さの中、5つの企業など65人もの参加者が集まり、清掃活動やタバコルールの啓発を行いました。

今後は、11月5日（水）午後4時から田町駅東口周辺にて、12月9日（火）午後3時から港南公園周辺にて、クリーンアップキャンペーンを実施します。

問い合わせ先
地区活動推進課活動推進係
電話：6400-0031



緑のカーテン応援隊活動報告!!!

芝浦港南地区総合支所の外壁の一部にネットを張り、緑のカーテンを育てる「緑のカーテン応援隊」を募集し、応募して下さった区民の皆さんと一緒に、6月12日にゴーヤなどの苗植えを行いました。

毎日、応援隊の皆さんや職員が協力して水やりをしながら、愛情いっぱい育てています。最初はひよろひよろしていた苗も、見事な緑のカーテンを作ってくれていて、庁舎の内側からは、太陽の光に透かされたとても美しいカーテンを見ることができました。毎日のたくましい成長ぶりには、ただただ驚かされるばかりです。

定期的な集まりの場を設け、応援隊の皆さんと生育状況の観察やゴーヤの収穫も行いました。

秋の訪れとともに、カーテンの季節も終盤に近づいています。来年も見事なカーテンをお見せできるよう、がんばります!!

